第２グループ　　令和　元年度　第　２回　　議事録

【年間テーマ：スピーチロックについて考える】

令和　元年　８月22日提出

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 日付 | 令和　元年　８月10日（土） | | | |
| 場所 | TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター | | 記録者名：井原　直美 | |
| 出席者（敬称略） | 社会保険稲築病院<br>村井　利香 | 福西会南病院<br>古賀　邊也 | 東福岡和仁会病院<br>池田　麻子 | 丸山病院<br>原野　剛 |
| | 新小倉病院<br>福田　真弓 | シーサイド病院<br>井原　直美 | | |
| | | | | |
| テーマ | 現場の振り返り　　高齢者の尊厳 | | | |
| 結論 | 発言する前に一呼吸おく、スピーチロックにならない言葉選び、ダメ，待ってと言ってしまった後のフォローをする事が、高齢者の尊厳に繋がるのではないか<br>グループの中には、毎日の終礼で振り返る活動を実施している病院があった。 | | | |
| 決定事項 | ユマニチュードの『話す』を活用し事例を通した対策を考える。 | | | |
| 備考 | A病院への私たちのA　①切迫性のタイミング：抑制が必要と考えたとき。同意書が後の時もある。<br>止めるタイミング:アセスメントを基に、カンファレンスで代替え案も考えながらタイミングを定める。<br>②優先順位はアセスメント、多職種カンファレンスで考えていく。<br>B病院への私たちのA　①ユマニチュードの活用。マットの使用など、安全対策を考える。　②ポジショニングや軍手を使用しチューブをつかみにくくする工夫をする。 | | | |
| 次回討論項目 | 発表に向けて段取りを考える。 | | | |

抑制廃止とケアの質を高める会　事務局

E-メールアドレス　info@famcf.jp

19-08-22;07:54PM;ﾌｧｰｲﾌｧｲﾌﾞ 福岡駅南1丁目　　# 1/